

医学系研究に関する情報公開文書

研究課題名	原発性 AL アミロイドーシスに対する自家末梢血造血幹細胞移植 100 例の後方視的研究
研究責任者	野村 萌
研究機関名	日本赤十字社医療センター 血液内科
研究目的と意義	AL アミロイドーシスは、腫瘍性に増殖した異常形質細胞の産物である免疫グロブリン（M 蛋白）の軽鎖に由来するアミロイド蛋白 FLC（free light chain）が全身の臓器に沈着して臓器障害を来す疾患です。また、AL アミロイドーシスは多発性骨髄腫（Multiple Myeloma、以下 MM）に合併するものと MM の診断基準を満たさない原発性とに分類されます。原発性 AL アミロイドーシスに対する治療としては現在メルファラン+デキサメタゾン療法と大量メルファラン併用自家末梢血造血幹細胞移植が知られていますが、原発性 AL アミロイドーシスは稀な疾患であるため本邦での自家末梢血造血幹細胞移植の治療効果に関する報告は少ないのが現状です。このため本研究では当センターにおいて原発性 AL アミロイドーシスに対して自家末梢血造血幹細胞移植をされた患者さんの診療データを検証し、自家末梢血造血幹細胞移植の治療効果等を明らかにし、今後の治療に役立てていくことを目的としています。
研究方法	対象は 2006 年 9 月から 2020 年 11 月までの間に原発性 AL アミロイドーシスに対して自家末梢血造血幹細胞移植を当センターで施行した方です。診療上の必要性をもって行われたこれまでの検査結果や診療録の内容を元に、患者さんの臨床所見、治療経過を後方視的に解析します。なお、研究結果は学会や論文で発表します。 倫理的配慮：解析は、個人情報の保護に十分配慮した上で行います。個人名が特定されないよう、患者さんの情報は匿名化されます。上記対象に該当する方で、本研究への登録を希望されない場合は、下記までご連絡ください。登録を希望されなくても不利益を被ることはありません。
問い合わせ先	日本赤十字社医療センター 血液内科 〒150-8935 東京都渋谷区広尾 4-1-22 担当者：野村 萌 TEL：03-3400-1311 FAX：03-3409-1604